

鷹山宇一と世界のチョウ

令和2年 9月4日(金)～11月8日(日) 10/19・29は休館

第1部

たかやまういち 鷹山宇一が描いた ちよう 蝶展 …… 宇一が描いた ちよう 蝶を標本で再現しました



少年の日の佛陀(一部)1947



第2部

美しい世界のチョウ …… 世界と日本の美しいチョウを地域ごとに紹介



開館時間 9:00～18:00

場所 3階特設コーナー

料金 通常の入館料

一般:310円(250円)

高・大150円(120円)

()は20人以上の団体

中学生以下無料、障害の

ある方・老人福祉施設に

入所の方は免除

主催:青森県立郷土館

030-0802

青森市本町2丁目8-14

電話 017-777-1585

FAX017-777-1588

本県出身の著名な画家である鷹山宇一(たかやまういち)は、画題として蝶をこよなく愛し、生涯にわたり世界の蝶をモチーフにした絵画を数多く残しています。それらの絵は、昨年、七戸町立鷹山宇一記念美術館開館25周年を記念して開催された『宇一が描いた蝶展』で紹介されました。記念展では、宇一の描いた絵画に、実際の蝶の標本を組み合わせるといふユニークな展示を行って、好評を博しています。今回は、その作品セットの一部をお借りして紹介します。

後半では、青森県立郷土館が所蔵する「世界のチョウ」の標本を紹介します。宇一が魅了(みりょう)された蝶の美しさは、花と並んで、自然界がつくり出した美の極致(きょくち)と言えるでしょう。世界にはどんな蝶が見られるのか、ここでは、世界を6つの動物地理区に分けて、代表的な蝶を紹介します。

芸術の秋、自然美の象徴である蝶と芸術の双方を鑑賞するミニ企画展示を堪能(たんのう)してください。

なお、この企画展示を行うにあたっては、七戸町立鷹山宇一記念美術館の館長をはじめとしたスタッフの皆様に多大なご協力とご支援をいただきました。ここに深くお礼を申し上げます。

第1部 鷹山宇一が描いた蝶展 作品一覧

- 1 少年の日の佛陀 1947年 66.0×53.0 キャンバス・油彩 第32回二科展 個人蔵
- 2 平原 1953年 90.3×72.5 キャンバス・油彩 第38回二科展 七戸町蔵
- 3 遊蝶・花 1960年前後 33.5×31.5 キャンバス・油彩 個人蔵
- 4 遊蝶・花 1960年前後 90.9×72.7 キャンバス・油彩 鷹山宇一記念美術館蔵
- 5 黒髪 1960年代 キャンバス・油彩 春季二科展
- 6 花・遊蝶 1960年代 45.5×38.2 キャンバス・油彩 鷹山宇一記念美術館蔵
- 7 湖畔の花 1992年 61.0×50.0 キャンバス・油彩 1992年春季二科展 鷹山宇一記念美術館蔵
- 8 古城幻影 1997年 91.0×91.0 キャンバス・油彩 1997年春季二科展 個人蔵

<コラム> 宇一とアウトクラトル そして、「中村哲 先生」

第2部 美しい世界のチョウ

世界のチョウを、動物の種類相の違いによって区分した「世界の動物地理区」にしたがって、地区ごとに紹介しています。それぞれの地区の違いを見比べてお楽しみください。

世界の動物地理区

世界には、約2万種のチョウがいると言われています。'所変われば品変わる'は、チョウも同じで、場所によって住んでいるチョウの種類が違います。その違いは「世界の動物地理区」による区分と一致します。



- 標本箱 1 旧北区・新北区
- 2 新熱帯区
- 3 熱帯アフリカ区
- 4 東洋区 (1)
- 5 東洋区 (2)
- 6 東洋区 (3)
- 7 東洋区 (4)
- 8 東洋区 (5)
- 9 オーストラリア区 (1)
- 10 オーストラリア区 (2)
- 11 オーストラリア区 (3)
- 12 日本のチョウ (1)
- 13 日本のチョウ (2)
- 14 美しいガ